

大学生 女将の仕事体験



三谷温泉インターーン

大学生が旅館の女将の仕事を体験し、地域活性化のアイデアを考える

「女将インターーンシップ」が四一七日、蒲郡市の三谷温泉であった。

金城学院大、三重大、京都産業大など県内外の女子学生十四人が参加。

平野屋、ひがきホテル、ホテル三河海陽閣の三施設で、出迎えや配膳、布団敷きなどの研修をした。

最終日の七日は、五チ一ムに分かれて蒲郡を活性化する宿泊プランなどを発表した。

金城学院大二年の織田夏鈴さん(三〇)は、稻沢市では、女性をターゲットに立ち居振る舞いや料理を教える「花嫁修業プラン」を提案した。三泊四日の研修を「若女将の指導で、ふすまの開け方、お茶の入れ方など日常のちょっとした動きが違つてくる。旅館に限らず、どんな職に就いても生かせると思う」と振り返っていた。

女将インターーンは三重の大の武田秀一講師が二〇〇九年から津市の榎原温泉などで企画し、近年は蒲郡で開いている。

(木下大資)

3泊4日の研修を通じて考えた蒲郡の活性化プランを発表する学生ら=蒲郡市三谷町で